日本鋳造マンスリーニュース
2020.9 Vol.1

日常にあるLEXの活躍フィールド

あらゆる分野で活躍するLEX®シリーズラインナップをご紹介します。

高温 400℃ / 中温 / 100℃ / 室温 / 0℃ / 低温 / -196℃ / 超低温

LEX 40K

❶高温安定性が良好。
350℃で強い効果を発揮

❷自動車製造設備部品、
半導体関連製造装置、
航空機金型などに採用

LEX-ZERO®

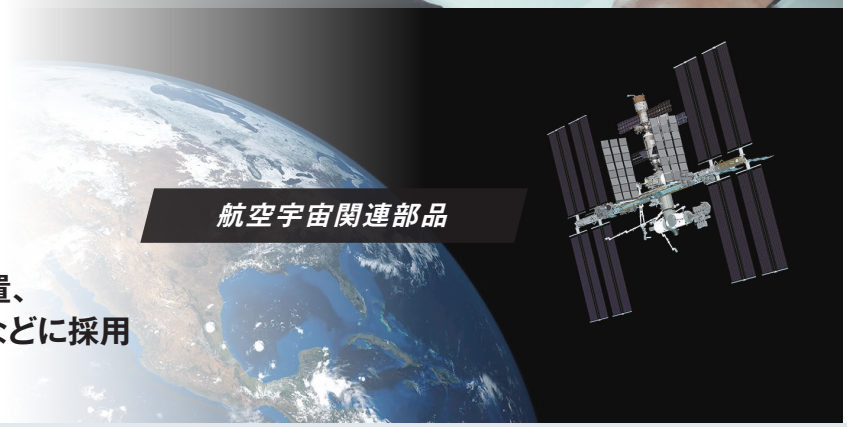
❶実用金属材料の中では
世界最小の熱膨張係数

❷半導体・液晶関連製造装置
などに採用

LEX-IF2

❶低温安定性が良好。
-196℃より使用

❷半導体関連製造装置、
航空宇宙関連部品などに採用

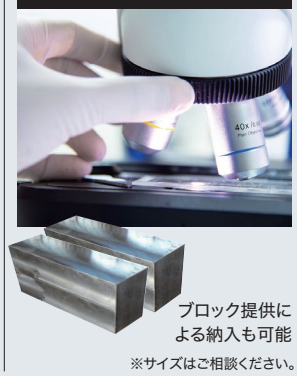


さまざまなサイズ・材質であらゆるニーズに対応

鋳物で製造する大型品、ブロックで提供する小型品、3Dプリンターで造形する極小型品と、幅広いサイズに対応しているほか、高温、室温、低温の各温度帯に適応可能な材質を確保しています。

大型品

小型品



ブロック提供による納入も可能
※サイズはご相談ください。

3Dプリンター

3Dプリンターで製造可能
（□250mm×H280mmまで対応）

Petit Column
日本鋳造 ハナシのタネ 日鋳百科

インバーの発明者について

シャルル・ギョーム氏

弊社の低熱膨張材LEX（Low thermal EXpansion Material）は俗にインバー（64%Fe+36%Ni）と言われますが、発明者はスイス人の物理学者シャルル・ギョーム氏です。彼は時計製造の家系の生まれで、時計の針が狂わないよう、このインバーを発明したと言われています。現在でも国内大手時計メーカーの製品にはインバーが使用されており、時を刻んでも彼の功績は“不変”です。

ちなみにシャルル・ギョームがこの発見でノーベル賞を受賞した1920年は弊社の創立年！日本鋳造がのちにZERO膨張を開発することなど、当時知る由もなかったでしょう。

お問い合わせは
日本鋳造株式会社
素形材営業部 第2営業室　TEL.044-322-3756
https://www.nipponchuzo.co.jp/lex/

予告 次号では各分野におけるLEXの活躍詳細と3Dプリンター品についてご紹介します。